

# きずな 〜絆〜

アジア・アウトリーチ香港・ミニストリーコーディネーター  
**ジャネット・ウォン**

「絆」とは、家族や友だちのような親密な間柄にだけあるものではありません。絆はチームメンバーの間にも、信頼と深いつながりを生じさせるものです。

「絆」は相乗効果をもたらし、制限された資源を持ち合わせ、より強い影響を与えることができます。これは震災における救助や、教会の働きに見られ、宣教や伝道の中にも見られることです。絆を賢い方法で用いれば、何か良いことのために多くの人々を動かすことさえできます。



2018年3月の中旬、AO香港を含む香港にある11の宣教団体によって構成される「日本宣教ネットワーク」が主体となって、日本の文化や風習について学ぶ宣教集会を開きました。ゲストとして招かれたポール鈴木氏 (JEMA

理事長) による学びを聞くために220名の中国系クリスチャンが集まりました。日本には約8,000の地域教会があり、加えて40の宣教団体と900名の宣教師がいることを学びました。みな「絆」をもって、互いに協力しながら超教派ネットワークを築いています。これは香港の日本宣教ネットワークが実践していることでもあります。

AO香港も「絆」を実践しています。日本をケアするミニストリーはまさしくこの精神に基づいているのです。香港や日本に住む日本人の方々を、主のために勝ち取ることに、香港で働いている日本人たちに福音

を伝えるための関係を築くこと。これを目指して、長期的で確かな関係を、教会と宣教団体と中国系クリスチャンとの間で築いていくための「絆」を実践しようとしています。

「もし一人なら、打ち負かされても、ふたりなら立ち向かえる。三つ燃りの糸は簡単には切れない。」(伝道者の書 4:12)

あなたも祈りによって「絆」の一部になりませんか？

- ・フルタイムのメンバーが集まるまで、間に立っている私のために祈ってください。
- ・香港から日本に派遣される宣教チームのために祈りください。
- ・みなさんから宣教チームを香港に派遣して、ここにいる日本人と「絆」が結べるように助けてください。



## 迫害されているクリスチャンのために祈ろう！ hakuai.org

- 令和元年最初のアジア・レポートをお届けします。日本の新しい時代に対する期待を、私たちの神様に対して大きく膨らませて行きたいと思います。
- 世界の情勢は日々動いています。今から30年前の1989年、3つの大きなことが起こりました。中国の天安門事件、ベルリンの壁が崩壊、ルーマニア革命によりチャウセスク政権が壊れました。後者は共産党の失墜を示しました。祈りがその

- 背後に働いていたことを私たちは知っています。神様は私たちの祈りを聞いてくださるのです。
- 昨年、ガンの発見によって来日がキャンセルになりましたマレーシアのスタンレー・ジェラード師が今年11月に来日して、諸教会を訪問して下さることが決まりました。日本を愛し、日本のリバイバルを信じてくださるスタンレー師に感謝します。

AR227  
 2019年4月~6月号

# アジア レポート



表紙写真：中国

試練の中の勝利—中国  
 きずな  
 アジア・アウトリーチ・香港 ~絆~

# 試練の中の勝利—中国

## リディア

私は、アジアから遠く離れた、人口三千人以下の小さな町で育った。そこは広々とした緑や青空に囲まれていて、霜の降りる朝と静かな夜があった。そのような所から、面積も人口も大きく、食や言語において多文化的な所へと遣わされるとは思ってもいなかった。

現場で働いた最初の頃を思い出すと、安心して育った環境を後にして、五百万人以上の大都会に順応しながら暮らすことは簡単なことではなかった。通りは交通と工事の騒音に満ちており、レストラン内や電車や船に乗れば大きな声での会話があった。バスや電車に乗るためには長い列をつくらなければならない、押し合いながら座席を求めながらの乗車はまさに悪夢だった。今までの生活に比べるとスピードが百倍以上になった。しかしその中でも、私の心には平安と興奮があった。それは、神様がこの時に私をこの場所に召してくださったと知っていたからだ。ここは私の家となり、神様が私のためにご計画している将来に向けての大切な一ステップだと信じていた。召されたこの地に来てから何が起るかを事前に知っていたのなら、もしかしたらここに来ていなかったかも知れない。

「わたしの思いは、あなたがたの思いと異なり、わたしの道は、あなたがたの道と異なるからだ。一主の御告げ—」（イザヤ 55:8）

宣教地での最初の数年は、ホザナ・ミニストリーの管理者として召された。当時働きの中心は、聖書を中国に持って行く働きだった。この働きの扉が閉じられた時、香港の若者と中国本土からの移住者向け英語キャンプや文化交流キャンプの企画と運営業務を任せられた。この時期に神様は、中国南部にいる田舎から引っ越してきた英語教師のための研修プログラム「アクション・ラブ」という、AO 香港の社会福祉的な働きのドアを開いてくださった。私は、海外から英語教師を招き、研修の企画と運営を任せられた。研修プログラムの中で、神様は少数民族に対する目を開かせてくださり重荷を与えてくださった。中国には 56 の少数民族があり、研修プログラムに於いてそのうちの 5 つが紹介された。それらの民族は「ドン」、「ハン」、「マオ」、「ヤオ」そして「ツァン」の民族だ。研修プログラムの一環として、教師たちの暮らすいくつかの村を訪問する機会が与えられた。特に、「ドン」民族に対する愛が私たちの中で強まっていくことを感じた。

「ドン」民族に対する愛が強まる一方、香港におけるドアが次第に閉じていくことを感じていた。ある時、中国本土から香港へ帰るために夜行列車に 14 時間揺られて旅をしていた時だった。窓から外を見ていると「わたしがあなたに行くと命じるところに行ってくれるか？」と神様からのチャレンジを受けた。一つの所にとどまり、そこに慣れると、新しい所に行くことは決して簡単なことではないと思う。神様が示しておられる町には一人も知り合いがおらず、もちろん、その言葉も私にとって大きな壁となりそうだった。しかし、神様がここへ導いておられるのだから神様を信頼しようと決意ができた。

「主は、すべてのわざわいから、あなたを守り、あなたのいのちを守られる。主は、あなたを、行くにも帰るにも、今よりとこしえまでも守られる。」（詩篇 121:7-8）

ドン族は独自の文化と言葉のほかに、ユニークな民族衣装と建築とを持っている。三百万人のドン族が広西自治区と貴州省と湖南省の境界線地域に住んでいるが、クリスチャン人口は 1% にも満たない。ドン族は川に囲まれている山岳地帯の村々に住んでいるので、それらの地域に行くのは難しい。彼らにとってアニミズムや偶像礼拝は宗教生活の重要な位置を占めている。村から村へ通ずる山道を歩くと、道端に多くの偶像が設置されていた。ドン族に福音を伝えるのは肉体的にも靈的にも簡単ではないが、あきらめたくない。神様のみことばが村々に川のように流れ、永遠の命と希望を与えるように祈っていただきたい。

2018 年、中国には多くの変化と課題があった。政府の法令に基づいて警察による取り締まりが厳しくなり、その波紋は中国中に広がった。私の友だちが突如、国外退去となり、多くの教会が閉鎖されていくのを見た。私が拠点置いていた町の教会も閉鎖されることになり、それは大きなショックだった。社会の中で多くのことが目まぐるしく変化している。しかし、その中でも現地の信徒たちの信仰によって励まされている。彼らは神様のみことばに堅く立って、神様のみ力によってこれらのことを乗り越えてい



こうとしている。このことから、教会は建物や目に見える物だけではないことを教えられる。教会を構成しているのは神の人々であって、神様への愛とお互いへの愛によって立っており、不確かなこの時代にさえも成長していこうとしている。

「光はやみの中に輝いている。やみはこれに打ち勝たなかった。」（ヨハネ 1:5）

変化と戦いと不確かなことに直面している中でも、私はなぜここにいるのかを忘れないようにしている。私は、人々のために、ひとりひとりのために、大きな群衆ではないかもしれないが、小さな民族の「ひとり」のためにここにいる。毎日、ここで出会っている人々とのつながりが、ここを私の家としてコミュニティとしている。まだこの地にいることができるかぎり、町にいても村へ旅をしても、私を通してキリストを現すことができるように願って祈っている。

「私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちの心にしるされていて、すべての人に知られ、また読まれているのです。」（II コリント 3:2）

日々、私の出会う人々のためにお祈りいただきたい。町や村は一日ずつ急速に変容しているが、人々の心は変わっていないと感じている。人々はうわべを気にしていて、豪華な自動車やブランド品を身に着けてはお互いに誇り合っている。権力と名誉心を満たしたいがために、相手よりも先頭に立つべく、毎日のように競争している。人々の心に、

父なる神様から与えられる真理に対する飢え渇きが与えられるようお祈りいただきたい。

故郷にいても遠くで暮らしていても、人生には試練がやってくる。試練は私たちを地面にたたきつけてしまう。試練の中で勝利者として歩むことを学ぶには、正しい選択をしなければならないだろう。これは簡単なことではない。数年間ここで暮らしていてもまだまだ学ぶべきことがたくさんあると感じている。神様に信頼することを学び、私の周りにいる人々から学びたいと願っている。神様が召してくださったこの地において、私にはまだ学ぶべきことがたくさんあるからだ。

「しかし、神に感謝すべきです。神は、私たちの主イエス・キリストによって、私たちに勝利を与えてくださいました。」（I コリント 15:57）



## AOジャパン



### アジアへ神の光を届けよう！

AOJ 評議員 京都グローリーチャーチ 吉田 義則

「神は光であって、神のうちには暗いところが少しもない。これが、私たちがキリストから聞いて、あなたがたに伝える知らせです。」（I ヨハネ 1:5）

2016 年のデータですが、世界人口は約 75 億人、そのうちアジア地域では 45 億人の人が住んでいます。その中で、救い主イエス・キリストを信じている比率は 9% と言われています。実に約 4 億人しかクリスチャンがいないのです。

私たちアジア・アウトリーチはアジアの人々へ福音を伝える使命により働きを始めた団体です。アジア・アウトリー

チ・ジャパンは団体の日本支部として活動しています。アジア全地に神の光を照らすため、神のことばを届ける、福音を伝える働きをしています。

福音のすばらしさ、神の光を伝えるために協力をお願いします。

「しかし、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。」（ローマ人への手紙 10:14）

アジア・アウトリーチ・ジャパンをアジアへ送り続けてください！ アジアの救いのために祈り続けてください！福音を宣べ伝えるために献金で支えてください！

ノートルダム寺院の火災、スリランカの教会へのテロ行為など、クリスチャンにとって暗いニュースが多い今こそ、神の光を届けましょう。